

町田市環境マネジメントシステム 2022年度実績報告書

2023年9月
町田市環境資源部環境政策課

はじめに

町田市では、市職員が率先して地球温暖化の防止に取り組むため、「町田市第5次環境配慮行動計画（地球温暖化対策実行計画「事務事業編」）」（以下「町田市第5次環境配慮行動計画」）を策定し、削減目標を掲げ、市役所自らの事務事業に伴って排出される温室効果ガスの削減に職員全員で取り組んでいます。

また、温室効果ガスの削減のみならず、廃棄物の削減や省資源等の環境負荷低減の取組を行っており、これらの町田市役所の環境の取組を推進する仕組として「町田市環境マネジメントシステム」を構築し、運用しています。

本報告書は、「町田市環境マネジメントシステム」について、2022年度（2022年4月～2023年3月）の実績と運用状況をまとめたものです。

目次

1. 町田市環境マネジメントシステムとは	4
2. 2022年度町田市環境マネジメントシステムの実績	7
2022年度活動テーマ別の実績評価	8
(1) 温室効果ガス・エネルギー	9
(2) 資源（廃棄物）	10
(3) グリーン購入達成率	11
(4) エコオフィス活動（職員共通）	12
(5) エコオフィス活動（施設担当部署）	13
3. 2022年度町田市環境マネジメントシステムの運用状況	14
(1) 研修の実施	15
(2) 環境法令の遵守	16
(3) 内部環境監査	17
(4) 外部評価	18
(5) 市長による見直し	19
(6) 情報公開	20
4. 2022年度実績データ集	21

1. 町田市環境マネジメントシステムとは

「町田市環境マネジメントシステム」とは

町田市では、2012年度から市独自の環境マネジメントシステム※1を運用し、市の温室効果ガス排出量や廃棄物排出量等の削減の取組を進行管理しています。

このシステムの特徴は、環境配慮の取組が有効かどうかの点検評価を行うために、職員相互による内部監査や、市民等による外部評価を実施することで、システムの客観性を担保していることです。また、透明性を高めるため、システムの運用状況・運用実績を、町田市環境白書や市のホームページで公表しています。

【適用範囲】

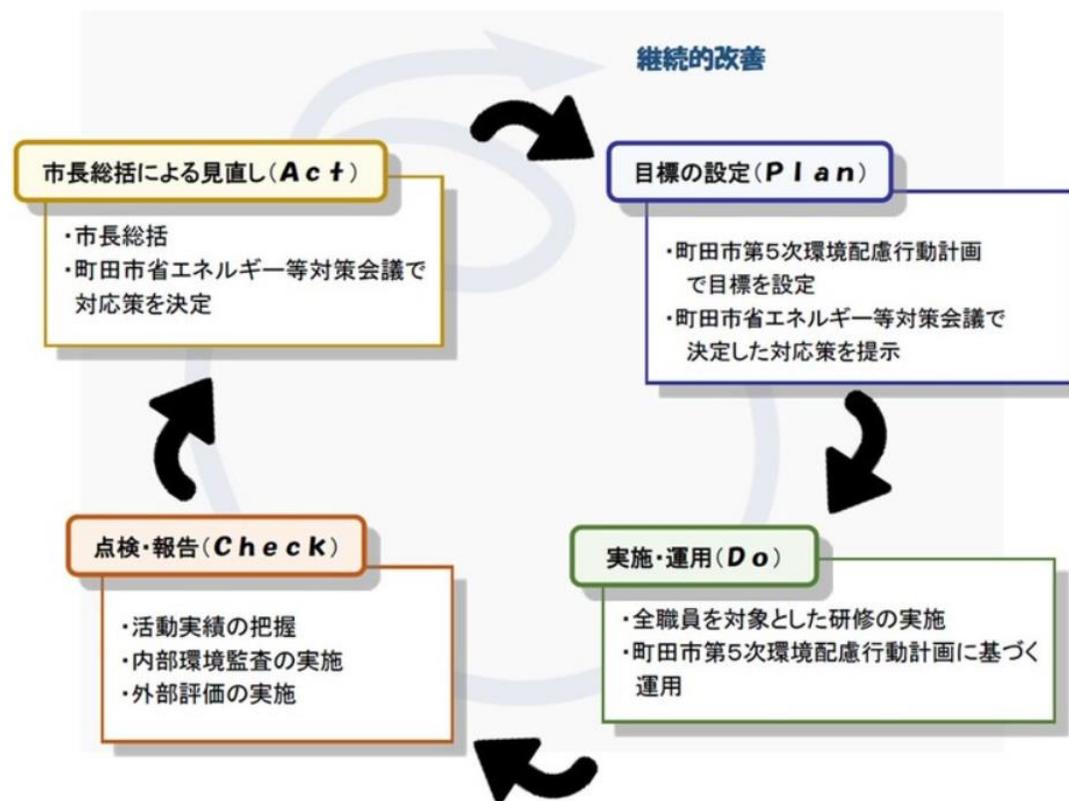
市の全施設（指定管理施設※2を含む）、
市の全職員

【対象とする活動】

「町田市第5次環境配慮行動計画」に基づくエコオフィス活動やその他温室効果ガス排出削減の取組

※1：組織や事業者が、その運営や経営の中で自主的に環境保全に関する取組を進めるにあたり、環境に関する方針や目標を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくための仕組みのこと

※2：管理運営を民間事業者等に委託している施設



システムの運用イメージ

「町田市第5次環境配慮行動計画」とは

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第21条第1項に基づく、町田市役所における事務および事業に係る地球温暖化対策等に関する率先行動を示す行動計画です。

温室効果ガスの継続的な排出抑制のための目標を掲げるとともに、庁内の省エネ・省資源、廃棄物の減量等に関わる取組を示しています。

計画期間	2022年度～2031年度	基準年度	2013年度
対象範囲	市の全施設（指定管理施設を含む）		
目 標	町田市役所における【温室効果ガス総排出量削減目標】 2030年度までに2013年度比で、46%削減 ※長期的な視点で大きな効果が期待できる重点プロジェクトを設定		
取組内容	1.全ての事務及び事業を対象として共通する取組(エコオフィス活動) 日常の事務業務から発生する温室効果ガスの排出抑制のために、各職員が行うエコオフィス活動の推進に関する具体的な取組を設定 2. 主要な部門ごとにそれぞれの特性に応じた取組 部署によって事務及び事業の内容が異なるとともに、管理する施設によって温室効果ガスの排出特性（エネルギー使用特性）も異なることから、より効果的に実施できるよう主要な部門ごとにそれぞれの特性に応じた取組を設定		

2. 2022年度町田市環境マネジメントシステムの実績

2022年度活動テーマ別の実績評価

2022年度の町田市環境マネジメントシステムについて、5つの活動テーマを実績に基づき5段階で評価を行いました。資源（市庁舎の廃棄物）の項目は、第5次環境配慮行動計画にて市庁舎の廃棄物排出量を対象としているため、2022年度から基準年度との比較とします。また、「資源（紙）」は、第5次環境配慮行動計画では目標値を設定していないため、実績データ集に掲載します。

【活動テーマ別実績評価点】

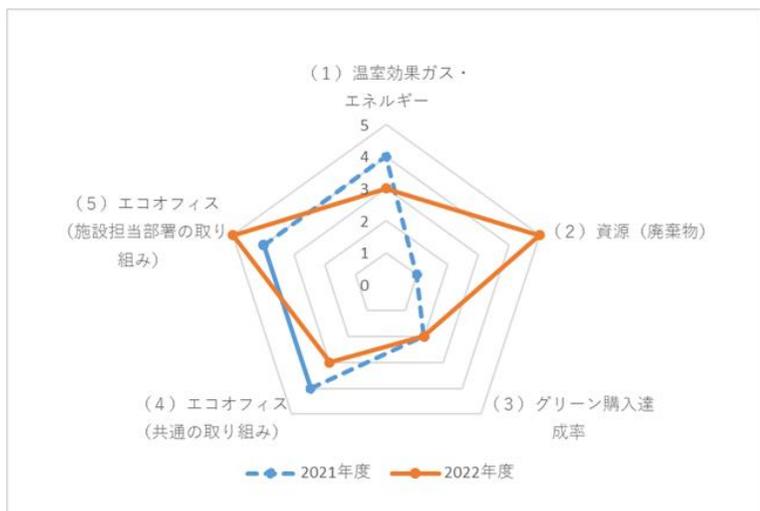
- (1) 温室効果ガス・エネルギー : 3点 (-1) <参考>
- (2) 資源（市庁舎の廃棄物） : 5点 (+4) <参考>
- (3) グリーン購入達成率 : 2点 (±0)
- (4) エコオフィス（職員共通） : 3点 (-1)
- (5) エコオフィス（施設担当部署） : 5点 (+1)

※（ ）内は前年度比

【評価結果概要】

- ▶ (1)温室効果ガス・エネルギー及び(2)資源（市庁舎の廃棄物）は、第5次環境配慮行動計画にて目標値が新たに設定されたため、評価基準も変更しました。いずれの実績も、前年度と比較して削減でき、目標達成に向けた良好な取組成果となりました。
- ▶ (3)グリーン購入達成率は、前年度と同じ評価点となりました。
- ▶ (4)(5) エコオフィス活動は、(4)職員共通の取組で前年度から1ポイント下がりました。

活動テーマ別の実績評価



	評価対象	評価基準（案）				
		1	2	3	4	5
(1) 温室効果ガス・エネルギー	2013年度比	±0%超	-11.5%以上	-23%以上	-34.5%以上	-46%以上
(2) 資源（市庁舎の廃棄物）	2019年度比	+5%以上	±0%超 +5%未満	±0%以上 -5%未満	-5%以上 -10%未満	-10%以上
(3) グリーン購入達成率	購入率	80%未満	85%未満 80%以上	90%未満 85%以上	95%未満 90%以上	95%以上
(4) エコオフィス（共通の取組）	活動別評価の平均	3.0点未満	3.6点未満 3.0以上	4.2点未満 3.6点以上	4.8点未満 4.2点以上	4.8点以上
(5) エコオフィス（施設担当部署の取組）	活動別評価の平均	80%未満	85%未満 80%以上	90%未満 85%以上	95%未満 90%以上	95%以上

(1) 温室効果ガス・エネルギー

評価点 3 ★ ★ ★ ☆ ☆

町田市環境マネジメントシステムでは、主に職員の事務及び事業におけるエネルギー使用（電気・ガス等）や町田市バイオエネルギーセンターにおける一般廃棄物の処理、下水処理場における下水処理等を起源とする温室効果ガス排出量について、「町田市第5次環境配慮行動計画」において削減目標を設定して、取組を推進しています。

	評価対象	評価基準				
		1	2	3	4	5
(1) 温室効果ガス・エネルギー	2013年度比	±0%超	-11.5%以上	-23%以上	-34.5%以上	-46%以上

データ集関連ページ P24～P30

【2022年度実績】

▶ 温室効果ガス排出量

2013年度比 29.8 %削減

※目標値（2030年度）

2013年度比 46%以上削減

【排出の状況と要因】

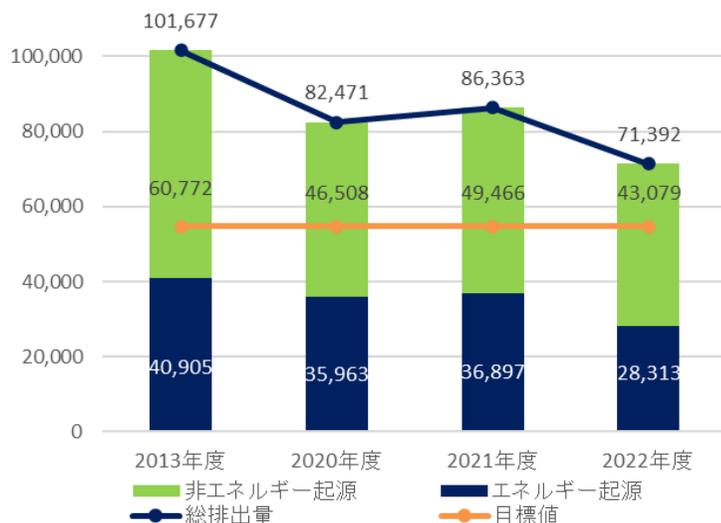
- ▶ 2022年度の温室効果ガス排出量は、基準年度（2013年度）から29.8%（30,285t-CO₂）削減し、前年度と比較して17.3%（14,971t-CO₂）削減することができました。
- ▶ 2022年度から、町田市バイオエネルギーセンターで発電したCO₂排出係数の低い電力を利用し、下水処理場（鶴見川クリーンセンター）の運転を行ったことで、電気によるCO₂排出量は前年から91.6%（3,227t-CO₂）削減、CO₂総排出量においては前年から24.6%（2,760t-CO₂）削減することができました。また、市庁舎においても、電力使用量の削減やCO₂排出係数の低い電力を利用したことで、前年度から21.2%（389t-CO₂）削減することができました。小・中学校は、電力使用量が増加したものの、CO₂排出係数の低い電力を利用したことで、排出量を削減することができました。

【目標達成に向けた町田市の取組】

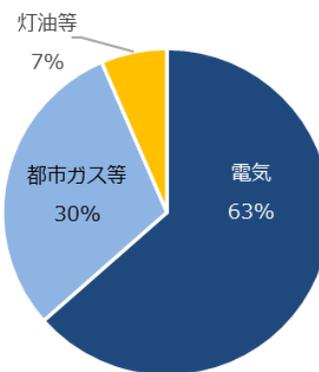
脱炭素化に向けて、施設の省エネ化や再エネ導入などを計画的に行っていきます。具体的な取り組みの1つとして、CO₂排出係数の低い事業者との電力契約を検討していきます。

※CO₂排出係数とは、1kWhの電気を供給するためにどのくらいのCO₂を排出しているかを示す指標です。CO₂排出量が少ないほどCO₂排出係数も低くなります。

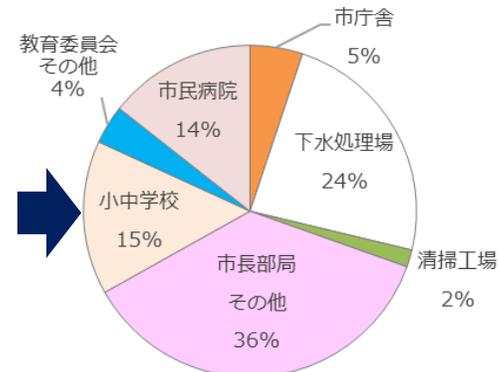
温室効果ガス排出量の推移（t-CO₂）



エネルギー別内訳



部門別温室効果ガス排出量割合



(2) 資源（市庁舎の廃棄物）

データ集関連ページ P31

町田市環境マネジメントシステムでは、廃棄物の発生抑制、3Rの推進に取組、廃棄物の排出量について、実績値を把握・管理しています。第5次環境配慮行動計画では、2022年度から市庁舎（本庁舎）から排出される事業系ごみを対象とし、2019年度比で10%削減を目指します。

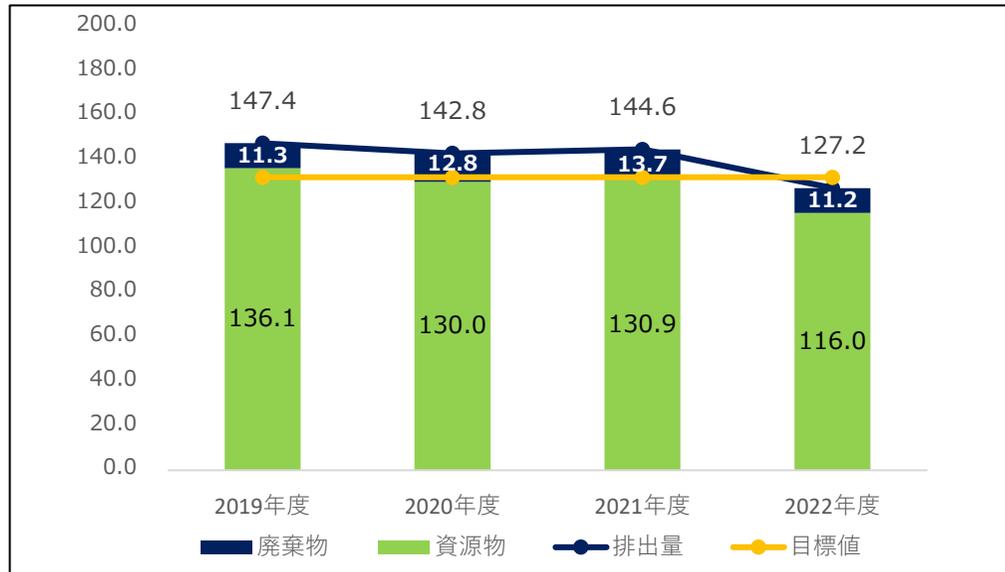
【2022年度実績】

▶ 市庁舎（本庁舎）の廃棄物排出量

2019年度比 13.7 % 削減

※目標値（2025年度）2019年度比 10% 削減
（第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画アクションプラン）

市庁舎（本庁舎）の廃棄物排出量（t）



※廃棄物は事業系一般廃棄物(可燃ごみ)と産業廃棄物(廃プラ・ビン等)の合計です。

評価点 5 ★ ★ ★ ★ ★

評価対象	評価基準				
	1	2	3	4	5
(2) 資源 (市庁舎の廃棄物)	2019年度比 +5%以上	±0%超 +5%未満	±0%以上 -5%未満	-5%以上 -10%未満	-10%以上

【主な増減要因】

- ▶ 2022年度は、2019年度と比較して約20t（-13.7%）、前年度からは約17t（-12.1%）削減することができました。

【目標達成に向けた町田市の取組】

- ▶ 業務において、文書の起案・決裁の電子化、ビジネスチャットの活用、タブレットを使用した文書の電子共有の普及などにより、紙購入量の削減が進んでおり、廃棄物の排出量の削減につながっています。
- ▶ 市庁舎から排出される事業系ごみは、約90%以上が紙や段ボールなどの資源物となり、リサイクルを行っています。資源のリサイクルには多くのエネルギーが必要であるためごみを出さない“Reduce”の取組みが今後も必要となります。資源となる紙ごみについてはリサイクルボックスに入れること、燃やせるごみ、燃やせないごみ、プラスチックごみの分別を徹底していきます。なお、個人のごみは家庭に持ち帰ることにしています。

第2次町田市一般廃棄物資源化基本計画アクションプラン（2021年3月策定）では2025年度までに10%削減を掲げており、更なる削減を目指していきます。また、第5次環境配慮行動計画では2026年度以降、その数値を維持する目標としています。

(3) グリーン購入達成率

評価点 2 ★ ★ ☆ ☆ ☆

グリーン購入とは、購入の必要性を考え、できるだけ環境への負荷の少ない商品やサービスを優先的に選んで購入することです。町田市役所では、「町田市環境物品等の調達に関する基本方針」及び、この方針に基づく物品の調達基準として、毎年、「町田市グリーン購入ガイドライン」を作成し、グリーン購入を推進しています。グリーン購入達成率（グリーン購入対象品の購入の際にグリーン購入法適合品を購入した件数の割合）については、目標値は設定しないものの、実績を把握・管理しています。

データ集関連ページ P33

【2022年度実績】

▶ グリーン購入達成率

82.3% (前年度比1.2ポイント向上)

【向上の要因と非適合品購入の理由】

- ▶ 2022年度は、「小・中学校」におけるグリーン購入達成率が前年度比1.8ポイント向上の78.6%となり、2019年度以降最も良い達成率となりました。グリーン購入対象件数の63.6%が「小・中学校」であるため、「小・中学校」での達成率の増加が大きく影響しています。
- ▶ 非適合品購入の理由としては、「価格優先」が35.1%、「品質優先」が46.9%であり、予算の都合や業務に必要な品質を考慮した結果、非適合品を購入せざるを得なかったものと考えられます。
- ▶ また、「その他」の18.0%のうち、“意識しないで購入したところ、適合品ではなかった”は、6件で「ごみ袋」「ゴム印」「付箋」でした。

【目標達成に向けた町田市の取組】

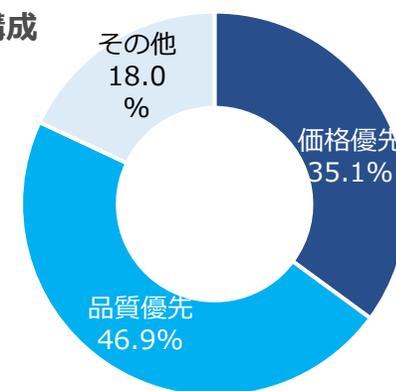
全庁の達成率と各部署・各学校の達成率を全庁に通知し、注意喚起を行います。さらなるグリーン購入達成率の向上に向けて、グリーン購入法適合商品・エコマーク商品に特化したカタログから選択・購入する等の取り組みを徹底するように注意喚起をしていきます。

(3) グリーン購入達成率	評価対象	評価基準				
		1	2	3	4	5
	購入率	80%未満	85%未満 80%以上	90%未満 85%以上	95%未満 90%以上	95%以上

グリーン購入達成率と非適合品購入理由の構成



非適合理由の構成



(4) エコオフィス活動（職員共通）

データ集関連ページ P35

「町田市第5次環境配慮行動計画」の削減目標達成に向けて、日常の事務業務から発生する温室効果ガスの排出抑制のために、各職員が共通して実施する取組の状況です。各職場のエコオフィスサポーターが評価した結果を全庁の平均(5点満点)で示します。

【2022年度実績】

▶ エコオフィス活動（共通）実施状況

4.19点 （2021年度実績：4.2点）

項目	取組の例	全庁評価	
省エネルギー	空調の適正使用	適正な温度設定を行い、使用していない部屋の空調は停止	4.4
	照明の適正使用	不要な照明はこまめに消す	4.2
	事務機器の適正使用	長時間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜く、手元スイッチをオフ 省エネモードの選択ができる場合は、省エネモードの設定	4.1
	公用車の適正使用	エコドライブを心掛ける 近距離移動時はできるだけ徒歩または自転車を利用	4.3
	給湯の適正使用	給湯器を有効利用し、電気ポットは使用しない	4.3
省資源	紙使用量の削減	印刷要否の精査、電子会議システム等の電子データの活用 出力する際は2 in 1・両面印刷等の機能を利用し件数を削減 裏紙の有効活用	4.2
	ごみの減量	使い捨て製品の使用や購入は控える くるくるコーナーの活用など不要な物品はお互いに融通し、有効利用を図る	4.4
他	グリーン購入	グリーン購入のガイドラインに適合するものを優先的に購入	3.6

…高評価

…低評価

評価点 3 ★ ★ ★ ☆ ☆

	評価対象	評価基準				
		1	2	3	4	5
(4) エコオフィス (共通の取り組み)	活動別評価の平均	3.0点未満	3.6点未満 3.0以上	4.2点未満 3.6以上	4.8点未満 4.2以上	4.8点以上

【取組の工夫】

▶ 以下のような工夫した取組が見られました。

<省エネルギー>

- ・クールビズ・ウォームビズなどの服装の工夫により気温の変化に対応し、適正な冷暖房の使用を行う
- ・不要照明の消灯、事務機器の電源オフや節電ボタンの利用
- ・公共交通機関の積極利用による公用車での移動を削減、公用車利用時にはエコドライブの励行

<省資源>

- ・Web会議システムやビジネスチャット、テレワーク実施、タブレットの活用、電子決裁の徹底等で紙の印刷を削減
- ・使い捨て製品の購入を控え、詰め替え・付け替え商品を選択したり、くるくるコーナーの活用で不要な物品はお互いに融通させることでごみの削減につながった

【取組の課題】

▶ 以下のような課題が挙げられました。

<省エネルギー>

- ・学校や庁外出先施設における空調の使用は、換気などの感染対策との両立が難しいこともある

<グリーン購入>

- ・限られた予算の中での購入となるため、物価上昇などもあり対応できないこともある
- ・意識して購入していないという回答に対し、グリーン購入の必要性や全庁の取組であることの再周知が必要

【目標達成に向けた町田市の取組】

エコオフィスサポーターが年度毎に変更する際にも、意識や評価結果に大きな差が生じないようにチェックシート様式を変更する工夫を行っています。各部署で2022年度所管課のチェック結果の分析を行い、所管している施設の特性を踏まえた節電やグリーン購入における注意喚起を呼びかけ、取り組み状況の確認を徹底していきます。

(5) エコオフィス活動 (施設担当部署)

評価点 5 ★ ★ ★ ★ ★

温室効果ガス排出量の抑制のためには、設備等の適正な管理が必要です。各職場で行う省エネ・省資源の取組の内、施設を管理する部署が実施する設備等の適正管理（定期点検及び日常運用）の状況です。各職場の施設環境推進担当からの報告に基づき、全庁の取組の実施率を示します。

	評価対象	評価基準				
		1	2	3	4	5
(5) エコオフィス (施設担当部署の取組み)	活動別評価の平均	80%未満	85%未満 80%以上	90%未満 85%以上	95%未満 90%以上	95%以上

データ集関連ページ P36～P39

【2022年度実績】

- ▶ **定期点検実施率 98.6%**
(2021年度実績：96.1%)
- ▶ **日常運用実施率 91.5%**
(2021年度実績：88.8%)
- ▶ **実施率 (全体) 95%**

【要因と今後の対応】

- ▶ 定期点検の実施率は「照明スイッチに点灯範囲を表示」がやや低かったものの、その他は95%以上と例年に引き続き高い結果となりました。
- ▶ 日日常運用も概ね高い実施率となりました。「昼休み時の照明消灯の実施」前年度から8.6ポイント向上し、59.3%でした。昼休み時のカウンター以外の消灯、始業前・時間外の消灯を徹底するように、各施設の特性を踏まえた取り組みを徹底します。

	定期点検										日常運用								
	熱源					給湯	照明		空調			給湯	照明			空調			動力
	冷温水出口温度の適正化	運転圧力の適正化	ブロー量の適正化	空気比の適正化	ポンプの流量、圧力の適正化	給湯温度・循環水量の適正化	ランプの定期的な清掃・交換	照明スイッチに点灯範囲を表示	空調フィルターの清掃・点検	駄の防止	空調運転範囲の意識化による無	給湯器の不要時停止	昼休み時の照明消灯の実施	採光を利用した消灯の実施	不在時の照明の消灯	冷暖房温度の適正な設定	空室・不在時の空調停止	中間期の外気冷房実施	外気導入量の適正化
実施率	100%	100%	100%	100%	100%	98.9%	99.0%	90.2%	100%	100%	97.8%	59.3%	89.0%	99.1%	95.4%	98.2%	98.0%	95.9%	82.8%

…高実施率

…低実施率

3. 2022年度町田市環境マネジメントシステムの運用状況

(1) 研修の実施

町田市環境マネジメントシステムでは、各職場における適切な環境マネジメントを推進するために、毎年、下表の研修を実施しています。

【2022年度実績】

- ▶ **集合型研修(動画視聴含む)出席率**
EMS研修 : 96.3%
- ▶ **e-ラーニング研修実施率**
学校以外 : 100% (2021年度比0.4%ポイント向上)
学 校 : 100% (2021年度比8.2%ポイント向上)

【出席率・実施率】

- ▶ 2022年度は、前年度まで新任管理職、環境推進員、庁舎管理責任者向けに実施していた研修を、全職員を対象にし、それぞれの役割ごとに研修（動画視聴）を行った。職員は、全職員向け、庁舎管理責任者向け、管理職向けの3種類を、役割ごとに組み合わせ受講した。前年度までの研修出席率に比べ向上した。全職員が対象となり、受講時間確保の認識が広がったと考えられる。
- ▶ 2022年度は、内部環境監査の実施がなかったことから内部環境監査員向けの研修は実施しなかった。

【町田市の取組】
全職員を対象とした研修を引き続き実施していきます。

区分	対 象	主な内容	実施日	対象者	出席	欠席	出席率	状況
			※1 () は前回の出席率					
集合型研修	内部環境監査員	・ 監査基準 ・ 監査の手順 ・ 監査のポイント	未実施	一名 (16名)	一名 (16名)	一名 (0名)	－ % (100.0%)	－
	全職員・庁舎管理責任者・管理職 (役割に応じて、動画視聴)	・ 環境政策の動向等 ・ 市の実績・課題 ・ 環境マネジメントシステムの基本（運用手順等） ・ 環境法令遵守 ・ 環境に配慮した施設管理、設備運用	8月15日～2月10日	3,620名 (一名)	3,485名 (一名)	135名 (一名)	96.3% (92.1%)※	↑
	新入職員	・ 地球温暖化の現状 ・ 市役所の取組 ほか	4月6日	55名 (55名)	55名 (55名)	0名 (0名)	100.0% (100.0%)	➡
	合計						98.1% (95.3%)	↑
e-ラーニング	全職員	・ 地球温暖化対策 ・ 環境法令遵守 ・ グリーン購入 ・ 廃棄物削減 ほか	年1回実施	実施率（学校以外）			100.0% (99.6%)	↑
				実施率（学校）			100.0% (91.8%)	↑

※前年度実施した新任管理職、環境推進員、庁舎管理責任者向けの研修への出席率の平均値とした。

(2) 環境法令の遵守

町田市環境マネジメントシステムでは、市の事務・事業に関連する環境関連法令を適切に遵守するために、2019年度より、遵守状況の管理を行っています。

市の多くの施設で該当する環境法令を対象として、遵守事項をまとめた「環境法令遵守チェックシート」を作成して遵守事項の確認を行うとともに、遵守状況の自己点検を実施しました。

【2022年度実績】

- ▶ 不適合※件数：16件
(2021年度不適合件数：24件)
- ▶ うち2022年度内の
是正済み件数：10件
未是正件数：6件

※遵守事項に対し、適切でない状態のこと

【環境法令遵守の状況】

- ▶ 不適合が最も多かったのは**廃棄物処理法（10件）**で、主な不適合内容は**保管基準の不備**（保管場所の囲いが無い、掲示板の未設置等）でした。東京都への産業廃棄物管理票交付状況報告書の**未提出も1件**ありました。
- ▶ **フロン排出抑制法**の主な不適合内容は、**簡易点検の記録未作成**でした。法定点検であることの認識を確実に有していく必要があります。

【町田市の取組】

これらの不適合案件は、2023年度中には全て適合するよう改善予定であることを確認しています。こういった法令不適合を未然に防ぐため、環境法令遵守に関するチェックリストの活用による見落としがなくなる業務の仕組作りや、職員研修などを用いた環境法令遵守の知識と意識の向上をさらに高めていきます。

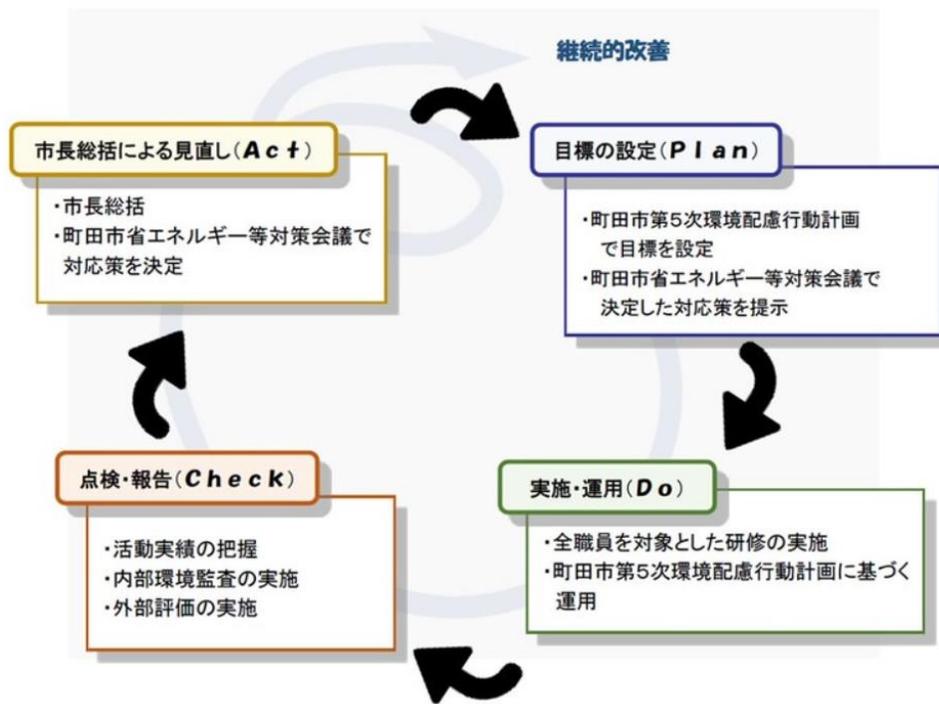
法令	対象となる業務	件数 ()内は2021年度			主な不適合内容
		不適合	内是正済	内未是正	
フロン排出抑制法	業務用エアコン・冷蔵庫・冷凍庫等の運用点検及び廃棄	7件 (6件)	3件	4件	・簡易点検の未実施（一部未実施含む） ・点検記録の未作成・一部記載不備
廃棄物処理法	産業廃棄物保管基準の遵守確認 収集運搬業者・処分業者との契約書の管理 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の管理 水銀使用製品産業廃棄物の保管及び処分	8件 (17件)	7件	1件	・保管基準の不備（掲示板未設置・記載不備、保管場所の囲いなし） ・東京都への交付状況報告の未実施 ・掲示板に水銀使用製品産業廃棄物を含む旨の未記載
PCB特別措置法及び 廃棄物処理法	【特別管理産業廃棄物】 PCB（ポリ塩化ビフェニル）廃棄物の適正な保管及び処分	1件 (1件)	0件	1件	・低濃度PCB廃棄物の処分予定が未定（予算未措置）
家電リサイクル法	家電（テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン等）の廃棄処分	0件 (0件)	0件	0件	—
	合計	16件 (24件)	10件 (11件)	6件 (13件)	

(3) 内部環境監査

内部環境監査とは、町田市環境マネジメントシステムが適切かつ継続的に実施されているか否かを確認することを目的として実施するものです。

2022年度は、「町田市第5次環境配慮行動計画」の策定に伴い「町田市環境マネジメントシステムマニュアル」を改定し、運用の変更を行った初年度となったことから、内部環境監査を行いませんでした。

「町田市第5次環境配慮行動計画」に基づく運用としてPDCAを一度回した、2023年度から、内部環境監査の実施を再開し、環境マネジメントシステムの適切な運用と継続的な改善を行っていきます。



システムの運用イメージ

(4) 外部評価

外部評価とは、「町田市環境マネジメントシステム」の運用について、市の職員以外の者による評価を受けることで、客観性を担保し、透明性を高めることを目的として実施しています。

2022年度は、市民や事業者、学識経験者計9名で構成された外部評価委員会を集合形式およびオンラインの併用にて開催し、環境マネジメントシステム外部評価を9月及び11月の計2回、実施しました。

2022年度外部評価委員会

実施日	第1回：2022年 9月30日（集合・オンライン開催） 第2回：2022年11月10日（集合・オンライン開催）
外部評価委員	市民、事業者、学識経験者（計9名）
評価内容	2021年度の活動に対する評価 ・環境パフォーマンス （温室効果ガス排出量、エネルギー使用量、廃棄物排出量等のパフォーマンス） ・環境活動状況 （各職場におけるエコオフィス活動および活動状況）

(5) 市長による見直し

市長による見直し（市長総括）は、外部評価結果及び実績報告書の内容を基礎情報として、必要に応じて環境マネジメントシステム全体の見直しを実施するものです。

2022年度は1月13日（金）に実施し、市長から以下の総括コメントがありました。

	外部評価委員会指摘	市長の総括コメント
1	2020年度のコロナ禍の影響や、町田市バイオエネルギーセンターの試運転等のやむを得ない事情があったものの、前年度から7.2%増加という数値は2019年度と比較しても微増しており、結果的に2021年度までに2015年度比で6%削減という目標値を達成できませんでした。問題を分析し、次期計画の推進に向けた取組の強化が必要です。	2022年度からの「町田市第5次環境配慮行動計画」では「町田市役所から排出される温室効果ガスの排出量を、2030年度までに2013年度比で46%削減すること」を掲げている。 この目標が確実に達成されるよう、2022年度に町田市公共施設脱炭素化推進ガイドラインを策定予定である。今後はこのガイドラインに基づき、公共施設の省エネ化や太陽光発電等の再生可能エネルギー設備の積極的な導入を進め、コロナ禍や猛暑・厳冬といった外的要因に左右されない部分で、着実に排出量の削減が進むよう取り組むこと。
2	廃棄物排出量は2015年度比・前年度比ともに増加し、再利用率は前年度に比べ改善傾向にあるものの、2015年度比では下回っています。廃棄物の排出量の削減や、再利用率の向上を行うためには、廃棄物の組成分析を行い、その結果を踏まえた具体的な対策の検討が必要と考えます。	廃棄物の排出については、再利用率は改善傾向にあるものの、排出量は増加している。廃棄物の組成分析等を行い、具体的な対策を講じること。
3	前年度からグリーン購入達成率が向上している点は評価できます。しかし、非適合品購入の理由に「意識しないで購入した」という理由があり、担当者の意識向上に加え、属人的な要因を最小化することが必要と考えます。また、達成率が低い傾向にある小中学校においては、グリーン購入品の水平展開を行うことで達成率のバラつき防止になると考えます。	グリーン購入の達成率は前年度から向上し8割を超えているが、小中学校・部署により購入率や担当者の意識にバラつきがある。 グリーン購入に関する優良事例を確認するため、達成率の高い部署を対象とした調査を行うこと。また、調査結果を庁内に共有し、各部署が優良事例を参考にすることで、担当者ごとに意識のバラつきがないよう、高い達成率を維持し、さらに全体の達成率を上げるため取り組んでいくこと。
4	不適合件数が昨年度と同じ24件でした。行政として環境法令遵守は、絶対事項です。不適合の未是正もゼロが基本です。未是正となっている事項は、基礎的な内容（廃棄物保管に関すること）であるため、躊躇なく改善を図る必要があります。そして、環境法令の不適合に対し、未然防止策の徹底が必要です。	環境法令については、不適合ゼロであることが基本である。不適合の多くが、廃棄物処理法及びフロン排出抑制法に関する事項となっている。 不適合案件については、期限を定めて速やかに是正対応を行うこと。また、未然防止のため、管理職を含め担当者の環境法令遵守に関する知識と、意識向上に必要な教育及び指導を行うとともに、不適合案件の情報共有を庁内で行うこと。

(6) 情報公開

町田市環境マネジメントシステムは、透明性の確保と市民に対する説明責任を果たすため、内部環境監査結果および外部評価結果を含む詳細な運用実績を町田市ホームページや町田市環境白書で開示しています。町田市環境白書（活動報告）は、市庁舎や市民センター等で配布しています。

「トップページ」>「暮らし」>
「ごみ・環境」>「環境」>「計画・会議」
>「計画」>「町田市環境配慮行動計画」
>「町田市環境マネジメントシステム」

年度ごとの実績報告書、内部監査結果や外部評価結果等を確認できます。

市民から広く意見を得るため、ホームページ上に意見を送付するメールフォームを設置しています。

町田市環境マネジメントシステム

町田市では、2012年度から市独自の環境マネジメントシステムを運用し、市の温室効果ガス排出量や廃棄物排出量等の削減の取り組みを進行管理しています。このシステムの特徴は、環境配慮の取り組みが有効かどうかの点検評価を行うために、職員相互による内部監査や、市民による外部評価を実施することで、システムの信頼性を担保していることです。また、透明性を高めるため、システムの運用状況・運用実績を、町田市環境白書や市のホームページで公表しています。

システムの運用イメージ

市長総括による見直し(Act)

- 市長総括
- 町田市省エネルギー等対策会議で対応策を決定

目標の設定(Plan)

- 町田市第5次環境配慮行動計画で目標を設定
- 町田市省エネルギー等対策会議で決定した対応策を提示

実施・運用(Do)

- 全職員を対象とした研修の実施
- 町田市第5次環境配慮行動計画に基づく運用

点検・報告(Check)

- 活動実績の把握
- 内部環境監査の実施
- 外部評価の実施

対象とする活動

「町田市第5次環境配慮行動計画」に基づくエコオフィス活動やその他温室効果ガス排出削減の取り組み

参考情報

- 2017年度から2021年度までの対象活動「町田市第4次環境配慮行動計画」に基づくエコオフィス活動やその他温室効果ガス排出削減の取り組み
- 町田市第4次環境配慮行動計画 (PDF: 1.254KB)
- 2012年度から2016年度までの対象活動「前期アクションプラン(第2次町田市環境マスタープラン推進計画)」に基づく環境改善および町田市第3次環境配慮行動計画(前期アクションプラン第3巻)」に基づくエコオフィス活動

運用実績

- 2021年度運用実績
- 2020年度運用実績

町田市ホームページ（町田市環境マネジメントシステムのページ）

4. 2022年度実績データ集

活動テーマ別実績評価結果（評価点）

	評価対象	評価基準					評価結果			
		1	2	3	4	5	2021年度		2022年度	
							実績	評価点	実績	評価点
(1) 温室効果ガス・エネルギー	2013年度比	±0%超	-11.5%以上	-23%以上	-34.5%以上	-46%以上	-15.1%	2	-29.8%	3
(2) 資源 (市庁舎の廃棄物)	2019年度比	+5%以上	±0%超 +5%未満	±0%以上 -5%未満	-5%以上 -10%未満	-10%以上	-1.9%	2	-13.7%	5
(3) グリーン購入 達成率	購入率	80%未満	85%未満 80%以上	90%未満 85%以上	95%未満 90%以上	95%以上	81.1%	2	82.3%	2
(4) エコオフィス (共通の取組)	活動別評価の 平均	3.0点未満	3.6点未満 3.0以上	4.2点未満 3.6点以上	4.8点未満 4.2点以上	4.8点以上	4.2点	4	4.13点	3
(5) エコオフィス (施設担当部署の 取組)	活動別評価の 平均	80%未満	85%未満 80%以上	90%未満 85%以上	95%未満 90%以上	95%以上	92.2%	4	95.1%	5

※2022年度の評価基準で評価した点数です。

部門別温室効果ガス排出量

部門別の温室効果ガス排出量の合計を以下に示します。

「町田市第5次環境配慮行動計画」での温室効果ガス排出量の削減効果量の算定では、電力排出係数に「基礎排出係数」を用いています。「基礎排出係数」と「調整後排出係数」のそれぞれの特長から両方のデータを用いて示します。

※CO2排出係数には「基礎排出係数」と「調整後排出係数」の2つの係数があり、「基礎排出係数」は、電力会社が発電する際に排出するCO2量を電力の単位で表した値です。一方、「調整後排出係数」は、再生可能エネルギーや非化石電源からの調達量などを考慮して修正された値です。

部門別温室効果ガス排出量 (t-CO2) **基礎排出係数使用**

	2013年度	2020年度	2021年度	2022年度	
				実績	対前年度増減量
市庁舎	2,164	2,064	1,835	1,446	-389
下水処理場	9,434	10,076	9,852	6,698	-3,154
清掃工場	2,367	629	789	476	-313
市長部局その他	12,928	8,935	9,763	10,310	547
小中学校	8,257	8,807	9,217	4,247	-4,970
教育委員会その他	-	1,150	1,135	1,068	-67
市民病院	5,755	4,303	4,306	4,068	-238
合計	40,905	35,964	36,897	28,313	-7,651

【2013年度を100とした時の増減比】

	2013年度	2020年度	2021年度	2022年度	
				2013年度比	対前年度増減率
市庁舎	100.0%	95.4%	84.8%	66.8%	-21.2%
下水処理場	100.0%	106.8%	104.4%	71.0%	-32.0%
清掃工場	100.0%	26.6%	33.3%	20.1%	-39.7%
市長部局その他	100.0%	69.1%	75.5%	79.7%	5.6%
小中学校	100.0%	106.7%	111.6%	51.4%	-53.9%
教育委員会その他	-	-	-	-	-5.9%
市民病院	100.0%	74.8%	74.8%	70.7%	-5.5%
合計	100.0%	87.9%	90.2%	69.2%	-23.3%

部門別温室効果ガス排出量 (t-CO2) **調整後排出係数使用**

	2013年度	2020年度	2021年度	2022年度	
				実績	対前年度増減量
市庁舎	1,947	1,602	1,833	1,431	-402
下水処理場	7,094	9,767	9,770	7,422	-2,348
清掃工場	2,363	729	1,360	473	-887
市長部局その他	10,565	9,383	9,904	10,406	502
小中学校	8,172	8,470	9,852	4,012	-5,840
教育委員会その他	-	1,115	1,132	1,128	-4
市民病院	4,918	5,063	4,885	4,222	-663
合計	35,059	36,129	38,735	29,094	-7,035

【2013年度を100とした時の増減比】

	2013年度	2020年度	2021年度	2022年度	
				2013年度比	対前年度増減率
市庁舎	100.0%	82.3%	94.2%	73.5%	-21.9%
下水処理場	100.0%	137.7%	137.7%	104.6%	-24.0%
清掃工場	100.0%	30.8%	57.5%	20.0%	-65.2%
市長部局その他	100.0%	88.8%	93.7%	98.5%	5.1%
小中学校	100.0%	103.6%	120.6%	49.1%	-59.3%
教育委員会その他	-	-	-	-	-0.3%
市民病院	100.0%	102.9%	99.3%	85.8%	-13.6%
合計	100.0%	103.1%	110.5%	83.0%	-24.9%

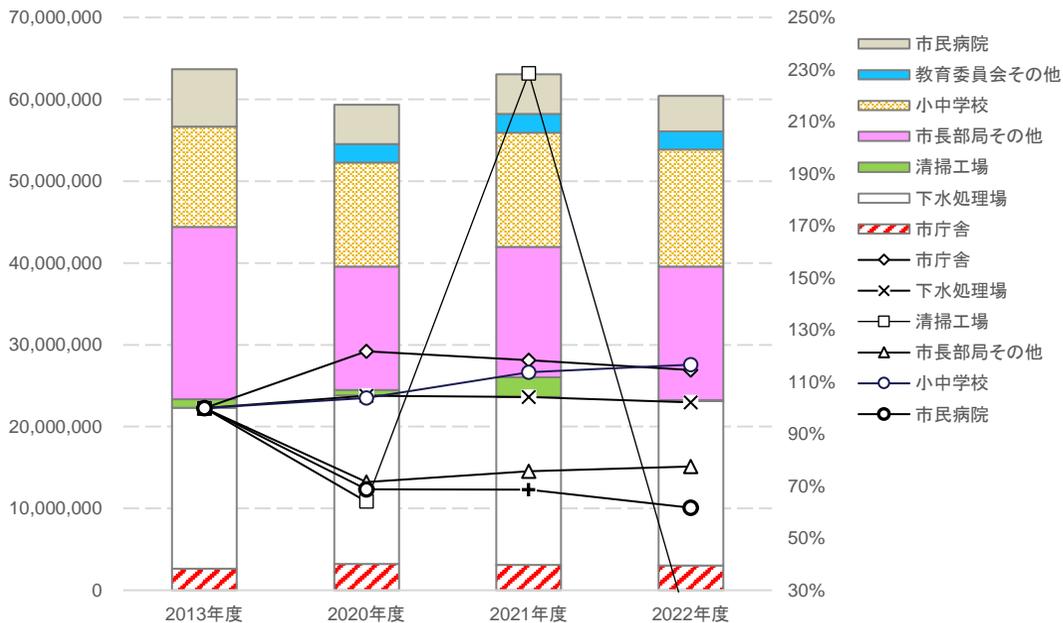
2. (1) 温室効果ガス・エネルギー（P9）関連 部別エネルギー使用量

部別の電気、都市ガス等、灯油等のエネルギーの状況と、各エネルギーの合計の比較を以下に示します。

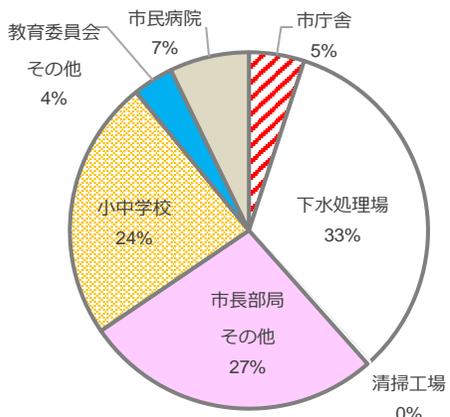
	電気 (kWh)				灯油 (L)				ガス (m)			
	2020年度	2021年度	2022年度		2020年度	2021年度	2022年度		2020年度	2021年度	2022年度	
	使用量	使用量	使用量	前年度比 増減率	使用量	使用量	使用量	前年度比 増減率	使用量	使用量	使用量	前年度比 増減率
財務部	3,167,845	3,119,612	3,020,062	-3%	76,387	78,574	78,374	0%	100,235	90,791	81,130	-11%
市民部	2,050,294	2,254,788	2,375,594	5%	376	403	146	-64%	113,999	131,011	136,335	4%
防災安全部	80,090	81,107	77,999	-4%	3,395	4,162	4,839	16%	0	0	0	-
文化スポーツ振興部	4,357,121	4,571,292	4,770,247	4%	526	1,447	931	-36%	319,171	332,942	394,807	19%
地域福祉部	625,662	599,276	563,455	-6%	34,921	33,847	34,278	1%	52,604	51,082	39,070	-24%
いきいき生活部	1,112,610	1,116,223	1,127,047	1%	87,298	87,370	87,920	1%	90,015	69,919	72,223	3%
保健所	412,279	414,868	419,825	1%	0	0	0	-	10,432	8,911	9,147	3%
子ども生活部	2,034,846	2,254,185	2,305,553	2%	109,279	143,335	132,281	-8%	118,956	126,212	127,784	1%
経済観光部	997,805	1,036,465	1,165,646	12%	162	144	144	0%	52,059	54,566	65,811	21%
環境資源部	1,733,563	3,478,829	1,084,533	-69%	267,392	223,590	206,874	-7%	25,652	154,402	120,273	-22%
道路部	474,225	452,968	448,010	-1%	14,973	14,963	15,235	2%	1,061	993	1,006	1%
都市づくり部	1,870,023	2,086,498	2,137,783	2%	8,983	9,131	9,399	3%	31,027	61,937	68,048	10%
下水道部	20,599,781	20,501,716	20,095,560	-2%	151,860	161,271	172,545	7%	126,857	128,043	148,512	16%
学校教育部 (小中学校)	12,741,186	13,950,622	14,302,410	3%	9,279	8,453	5,583	-34%	1,156,087	1,239,063	1,261,793	2%
学校教育部 (その他)	506,442	511,088	493,199	-4%	782	623	648	4%	15,943	15,087	14,811	-2%
生涯学習部	1,719,595	1,799,934	1,730,685	-4%	0	0	0	-	58,242	48,288	45,833	-5%
事務部	4,839,099	4,825,905	4,337,497	-10%	612	582	570	-2%	1,204,206	1,185,620	1,075,590	-9%
合計値	59,322,466	63,055,376	60,455,107	-4%	766,226	767,897	749,765	-2%	3,476,545	3,698,866	3,662,175	-1%

2. (1) 温室効果ガス・エネルギー（P9）関連 部門別電気使用量

部門別電気使用量（kWh）



部門別電気使用割合



部門別電気使用量の推移（kWh）

	2013年度 (基準年度)	2020年度	2021年度	2022年度	
				実績	対前年度 増減量
市庁舎	2,633,830	3,207,406	3,119,612	3,020,062	-99,551
下水処理場	19,664,276	20,599,781	20,501,716	20,095,560	-406,156
清掃工場	1,049,267	672,074	2,398,423	136,610	-2,261,813
市長部局その他	21,050,115	15,076,443	15,948,076	16,339,084	391,008
小中学校	12,259,482	12,741,186	13,950,622	14,302,410	351,788
教育委員会その他	—	2,226,037	2,311,021	2,223,885	-87,136
市民病院	7,034,526	4,839,099	4,825,905	4,337,497	-488,408
合計	63,691,496	59,362,026	63,055,376	60,455,107	1,093,081

【2013年度を100とした時の増減比】

	2013年度	2020年度	2021年度	2022年度	
				2013年度比	対前年度 増減率
市庁舎	100.0%	121.8%	118.4%	114.7%	-3.2%
下水処理場	100.0%	104.8%	104.3%	102.2%	-2.0%
清掃工場	100.0%	64.1%	228.6%	13.0%	-94.3%
市長部局その他	100.0%	71.6%	75.8%	77.6%	2.5%
小中学校	100.0%	103.9%	113.8%	116.7%	2.5%
教育委員会その他	—	—	—	—	-3.8%
市民病院	100.0%	68.8%	68.6%	61.7%	-10.1%
合計	100.0%	93.2%	99.0%	94.9%	-4.1%

電気使用に伴うCO2排出量について

電気の使用に伴うCO2排出量は、電気事業者ごとの「排出係数」に基づき算出するため、CO2排出量の削減にあたり、排出係数の低い事業者から電力を調達することが有効です。

$$(\text{CO2排出量} = \text{電気使用量} \times \text{排出係数})$$

<町田市の電力契約の現状>

町田市では、市有施設の電力調達において、競争入札に付して契約を締結する場合、契約時のCO2排出係数が代替値※未満の事業者であることを、入札参加の条件とすることで環境に配慮しています。

※代替値：環境省が示している過去5年の平均排出係数。排出量が把握できない事業者に対して代替するために用います。

しかしながら、競争入札により契約している施設の電気使用量は、市有施設全体の電気使用量の約4割程度（下表参照）であり、小規模施設を含む多くの施設では、各課・各施設で随意契約を行っています。随意契約については、環境配慮の視点で統一したルールはありませんでしたが、新たな基準を構築し、環境に配慮した電力調達を全庁的に実施するよう仕組みを整え、2019年度から運用を開始しました。

全体的に排出係数のより低い事業者への変更が推進されており、中でも、中小規模施設においては、これまでに参入が無かった業者との契約が確認されるなど、積極的な取組が確認されています。

▼ 契約方法別の電気使用量割合及び平均排出係数

契約方法	契約における環境配慮等	該当施設 (2022年度)	市全体における 電気使用量の割合 (2022年度)	平均排出係数(kg-CO2/kWh)		
				2020	2021	2022
条件付 一般競争入札 (契約課契約)	【入札参加条件】 CO2排出係数の実績値が代替値未満であること		0%	0.441	0.478	-
随意契約 (各課契約)	【契約時の配慮事項】 ※2019年7月より CO2排出係数の実績値が代替値未満の複数の事業者から見積りを徴収すること	全施設 ※1	100%	0.439	0.439	0.423※2
	電力安定供給への配慮による随意契約	下水処理場				0.445※2
				代替値		
				0.470	0.453	0.441

※1. 2022年度は電力需給が逼迫したため、全施設において随意契約（各課契約）を行いました。

※2. 2022年度から電力の使用に伴うCO2排出係数に「基礎排出係数」を使用したことにより、平均排出係数について上段に「基礎排出係数」、下段に2021年度まで使用していた「調整後排出係数」を記入しています。

▼町田市が契約している施設の過去3カ年の基礎CO2排出係数及び全施設の平均排出係数

(排出係数：kg-CO2/kWh)

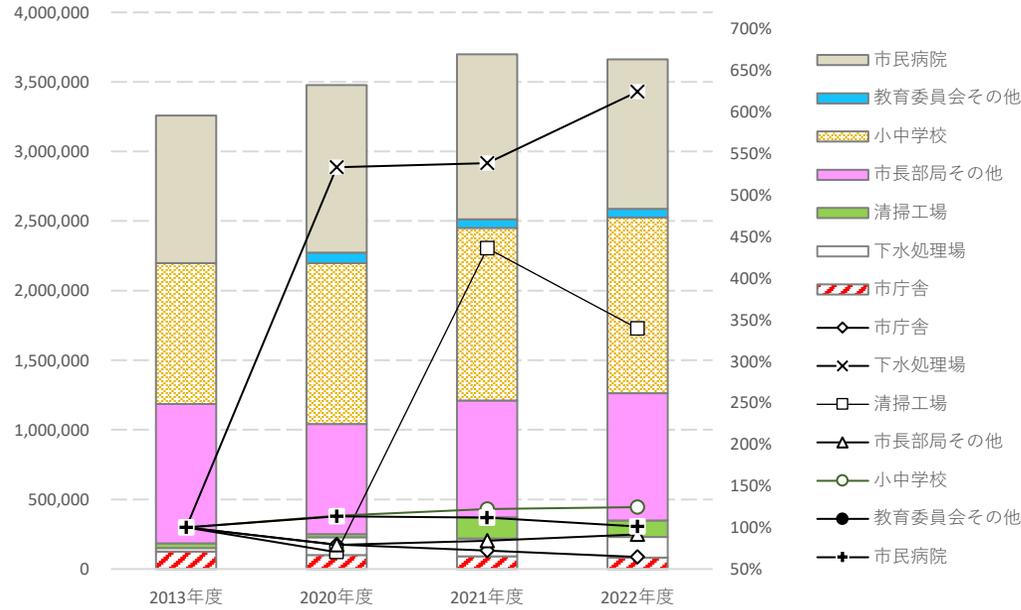
	年度	2020年度		2021年度		2022年度	
		契約月	4月～11月	12月～3月	4月～11月	12月～3月	4月～12月
市庁舎	事業者	ホープ	ホープ	ホープ	東京電力	東京電力	タクマエナジー
	排出係数	0.378	0.378	0.474※1	0.443	0.457※1	0.038
	契約月	4月～2月	3月	4月～11月	12月～3月	4月～3月	
町田リサイクル文化センター	事業者	ミツウロコ	日立造船	日立造船	※3	※3	
	排出係数	0.491	0.195	0.027	-	-	
	契約月	4月～1月	2月～3月	4月～1月	2月～3月	4月～3月	
忠生市民センター ほか10施設	事業者	ミツウロコ	ホープ	ホープ	東京電力	東京電力	
	排出係数	0.491	0.378	0.474※1	0.443	0.457※1	
	契約月	4月～2月	3月	4月～2月	3月	4月～2月	3月
町田市立小・中学校等 (63施設) ※2	事業者	東京電力	ホープ	ホープ	タクマエナジー	タクマエナジー	東京電力
	排出係数	0.442	0.378	0.474※1	0.569※1	0.038	0.457※1
	契約月	4月～3月		4月～3月		4月～9月	10～3月
町田市民病院（旧看護専門学校を含む）	事業者	ミツウロコ		ミツウロコ		ミツウロコ	東京電力PG
	排出係数	0.491		0.464		0.342	0.434

平均排出係数 (調整後係数) 上記施設に加え、その他の市長部局、 教育委員会、市民病院すべてを含む	0.421 (0.441)	0.408 (0.447)	0.423 (0.445)
代替値 環境省が示している過去5年の 平均排出係数	0.470	0.453	0.441

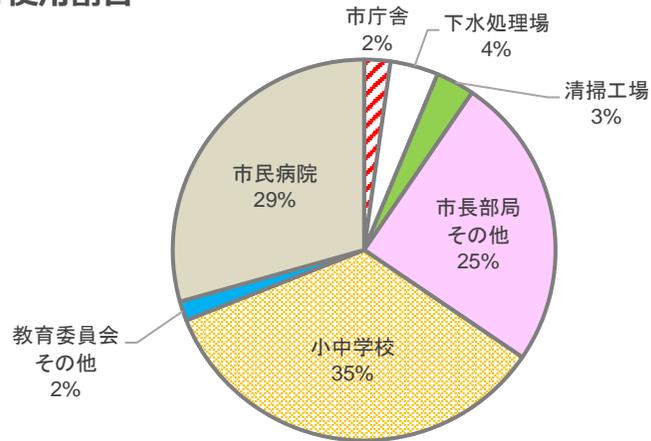
- ※1 契約している事業者のなかには、排出係数が代替値以上となっているものがありますが、競争入札の開札日時点では代替値未満でした。
(国が排出係数を公表する時期は、当該年度のおおむね12月下旬であることから、結果的に排出係数が代替値以上となることが起こり得ます。)
- ※2 町田市立小・中学校等(63施設)…町田市立小・中学校(町田第一中学校を除く)61校、及び教育センター、旧忠生第六小学校。
なお、2022年3月以降は、旧忠生第六小学校が入札グループから外れ、62施設のグループとなっています。
- ※3 清掃工場の建替えに伴い、町田リサイクル文化センターの電気使用は、2021年11月で終了しました。

2. (1) 温室効果ガス・エネルギー (P9) 関連 部門別都市ガス等使用量

部門別都市ガス等使用量 (m³)



部門別都市ガス等使用割合



部門別都市ガス等使用量の推移 (m³)

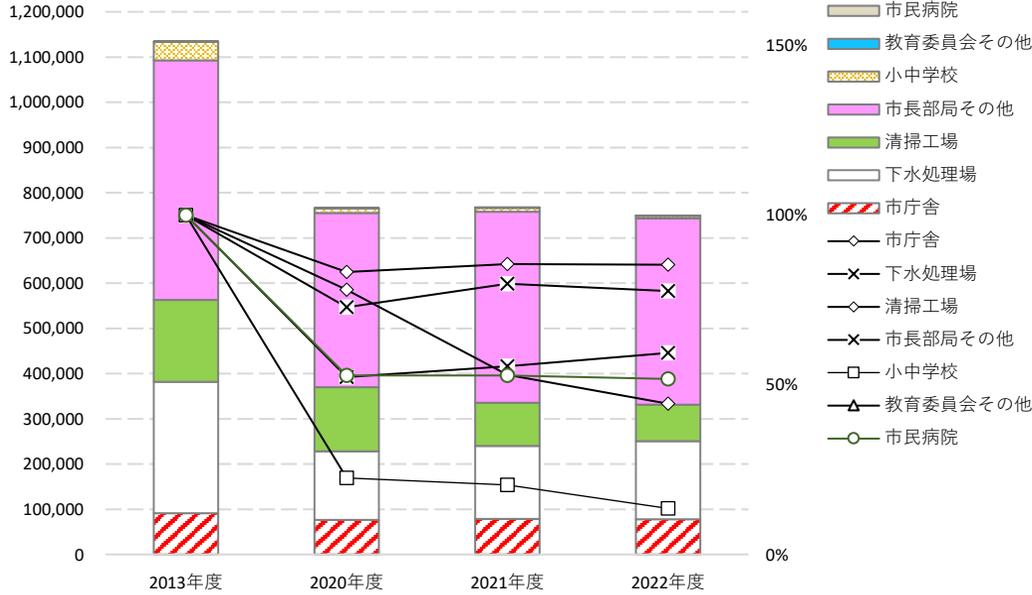
	2013年度 (基準年度)	2020年度	2021年度	2022年度	
				実績	対前年度 増減量
市庁舎	125,946	100,235	90,791	81,130	-9,661
下水処理場	23,787	126,857	128,043	148,512	20,469
清掃工場	35,210	24,800	153,593	119,530	-34,063
市長部局その他	999,866	790,175	838,382	914,974	76,592
小中学校	1,012,754	1,156,087	1,239,063	1,261,793	22,730
教育委員会その他	—	74,185	63,375	60,645	-2,730
市民病院	1,061,133	1,204,206	1,185,620	1,075,590	-110,030
合計	3,258,696	3,476,545	3,698,867	3,662,174	185,629

【2013年度を100とした時の増減比】

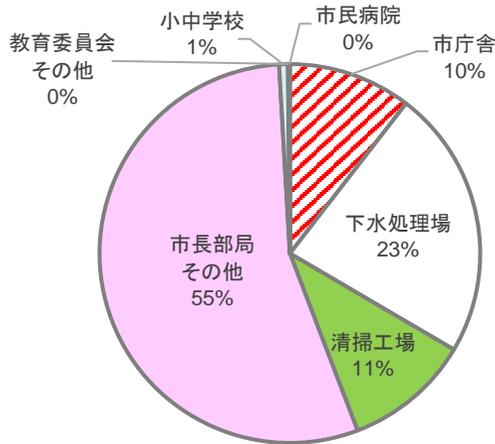
	2013年度	2020年度	2021年度	2022年度	
				2013年度比	対前年度 増減率
市庁舎	100.0%	79.6%	72.1%	64.4%	-10.6%
下水処理場	100.0%	533.3%	538.3%	624.3%	16.0%
清掃工場	100.0%	70.4%	436.2%	339.5%	-22.2%
市長部局その他	100.0%	79.0%	83.8%	91.5%	9.1%
小中学校	100.0%	114.2%	122.3%	124.6%	1.8%
教育委員会その他	—	—	—	—	-4.3%
市民病院	100.0%	113.5%	111.7%	101.4%	-9.3%
合計	100.0%	106.7%	113.5%	112.4%	-1.0%

灯油等の使用量（ガソリン、軽油、A重油）

部門別灯油等使用量（バレル）



部門別灯油等使用割合



部門別灯油等使用量の推移（バレル）

	2013年度 (基準年度)	2020年度	2021年度	2022年度	
				実績	対前年度 増減量
市庁舎	91,747	76,387	78,574	78,374	-200
下水道処理場	290,365	151,860	161,271	172,545	11,274
清掃工場	181,127	141,425	95,893	80,586	-15,307
市長部局その他	529,501	385,880	422,501	411,460	-11,041
小中学校	41,136	9,279	8,453	5,583	-2,870
教育委員会その他		782	623	648	25
市民病院	1,101	582	582	570	-12
合計	1,134,977	766,196	767,897	749,766	-16,430

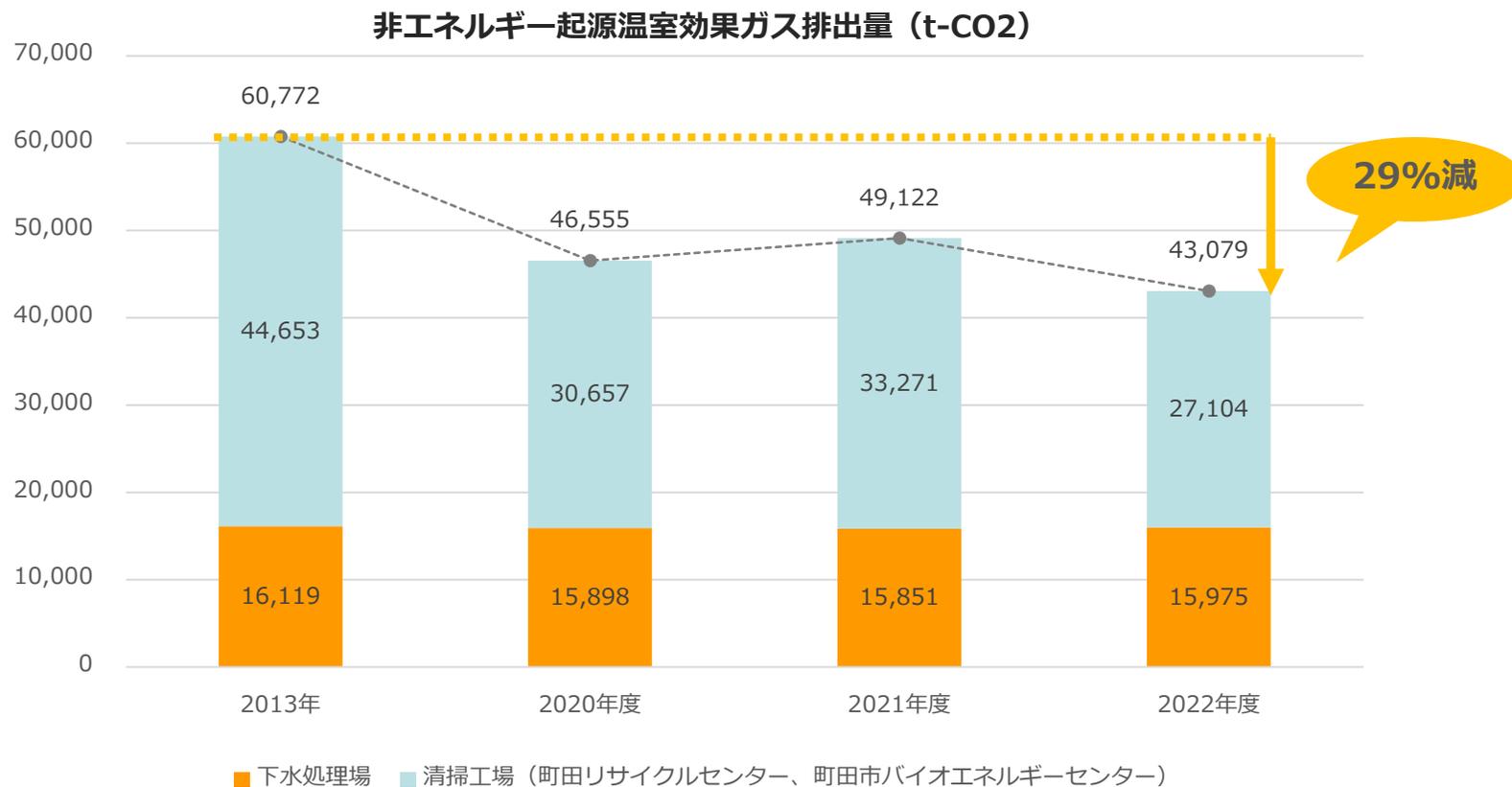
【2013年度を100とした時の増減比】

	2013年度	2020年度	2021年度	2022年度	
				2013年度比	対前年度 増減率
市庁舎	100.0%	83.3%	85.6%	85.4%	-0.3%
下水道処理場	100.0%	52.3%	55.5%	59.4%	7.0%
清掃工場	100.0%	78.1%	52.9%	44.5%	-16.0%
市長部局その他	100.0%	72.9%	79.8%	77.7%	-2.6%
小中学校	100.0%	22.6%	20.5%	13.6%	-34.0%
教育委員会その他	—	—	—	—	4.0%
市民病院	100.0%	52.8%	52.8%	51.8%	-2.0%
合計	100.0%	67.5%	67.7%	66.1%	-2.4%

非エネルギー起源温室効果ガス排出量

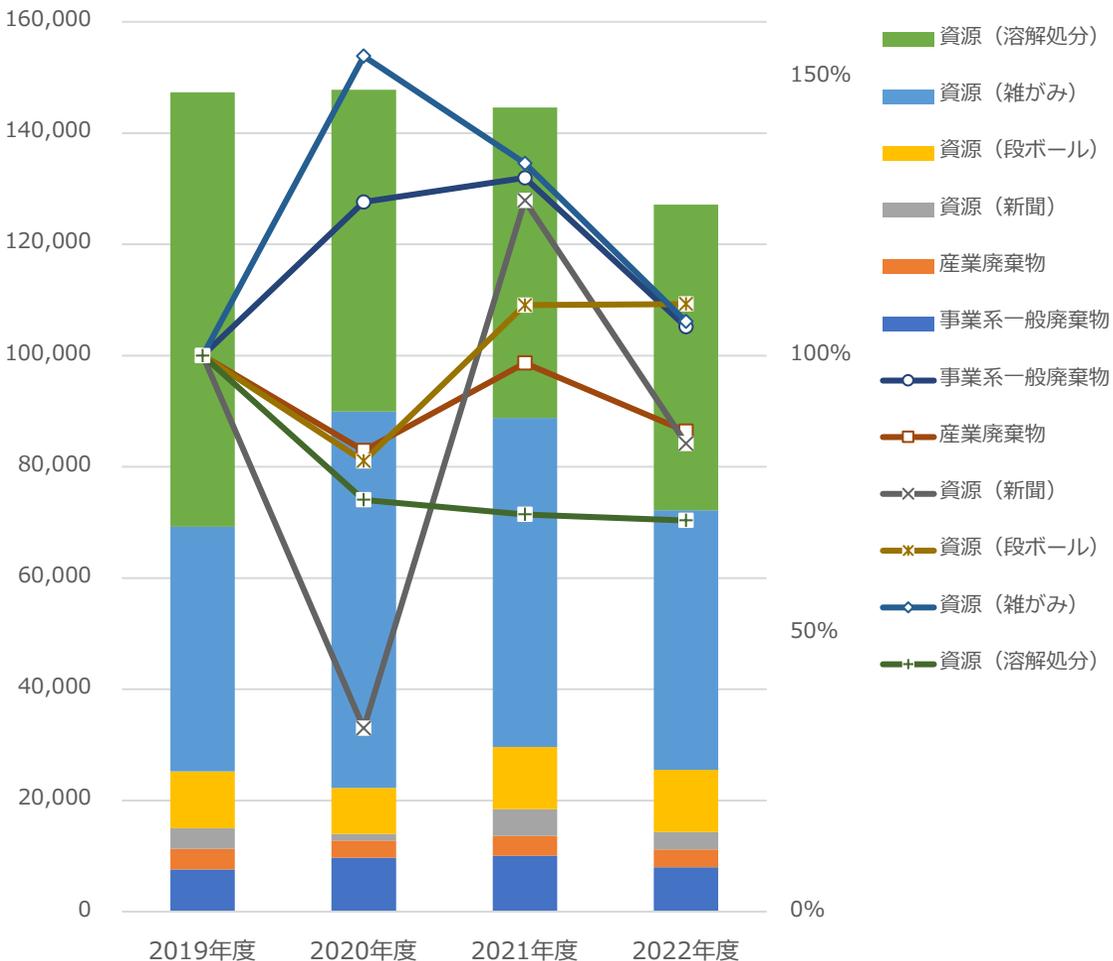
「町田市第5次環境配慮行動計画」では、職員の事務活動から算出される温室効果ガス（エネルギー起源）と、市内の清掃工場や下水処理場から発生した一般廃棄物焼却や下水処理を起源とする温室効果ガス（非エネルギー起源）のすべての温室効果ガスの総排出削減目標を設定しています。ここでは、非エネルギー起源の温室効果ガスの実績を紹介します。

2022年度の非エネルギー起源温室効果ガス排出量は、基準年度となる2013年度から29%減少、前年度からは12%減少しています。



市庁舎から排出された廃棄物・資源物の内訳

廃棄物再利用量・処分量 (KG)



種類別排出量の推移 (KG)

	2019年度 (基準年度)	2020年度	2021年度	2022年度	
				実績	対前年度 増減量
事業系一般廃棄物	7,635	9,745	10,075	8,030	-2,045
産業廃棄物	3,658	3,033	3,609	3,160	-449
【廃棄物合計】	11,293	12,778	13,684	11,190	-2,494
資源（新聞）	3,730	1,230	4,770	3,140	-1,630
資源（段ボール）	10,230	8,290	11,160	11,180	20
資源（雑がみ）	43,970	67,640	59,180	46,670	-12,510
資源（溶解処分）	78,150	57,880	55,830	54,980	-850
【資源物合計】	136,080	135,040	130,940	115,970	-14,970
総排出量	147,373	147,818	144,624	127,160	-17,464

【2019年度を100とした時の増減比】

	2019年度 (基準年度)	2020年度	2021年度	2022年度	
				2019年度比	対前年度 増減率
事業系一般廃棄物	100.0%	127.6%	132.0%	105.2%	-20.3%
産業廃棄物	100.0%	82.9%	98.7%	86.4%	-12.4%
【廃棄物合計】	100.0%	113.1%	121.2%	99.1%	-18.2%
資源（新聞）	100.0%	33.0%	127.9%	84.2%	-34.2%
資源（段ボール）	100.0%	81.0%	109.1%	109.3%	0.2%
資源（雑がみ）	—	153.8%	134.6%	106.1%	-21.1%
資源（溶解処分）	100.0%	74.1%	71.4%	70.4%	-1.5%
【資源物合計】	100.0%	99.2%	96.2%	85.2%	-11.4%
総排出量	100.0%	100.3%	98.1%	86.3%	-12.1%

市庁舎で使用（購入）した紙の量

町田市環境マネジメントシステムでは、2022年度から市庁舎（本庁舎）から排出される事業系ごみを対象に目標を設定し、取り組んでいます。市庁舎から排出されるごみの約90%が紙類です。紙購入量の削減について、目標値は設定しないものの、廃棄物の発生抑制、3Rの推進に取り組んでいることから、市役所全体の紙購入量について実績を把握・管理しています。

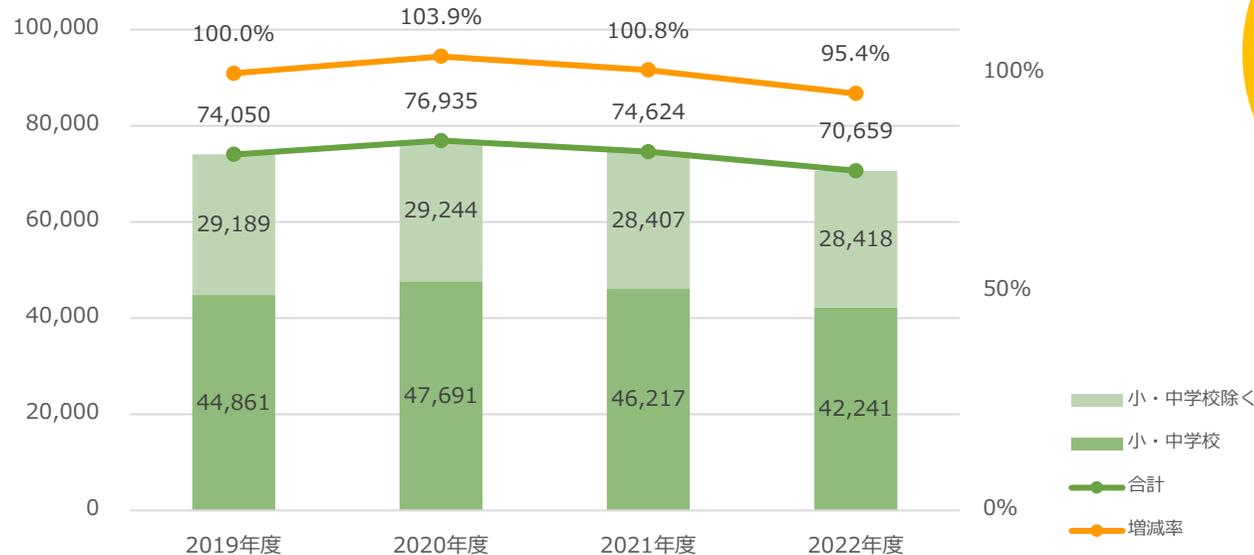
【2022年度実績】

▶ 市役所全体の紙購入量 <参考> ※

前年度（2021年度）比 **5.3% 削減**

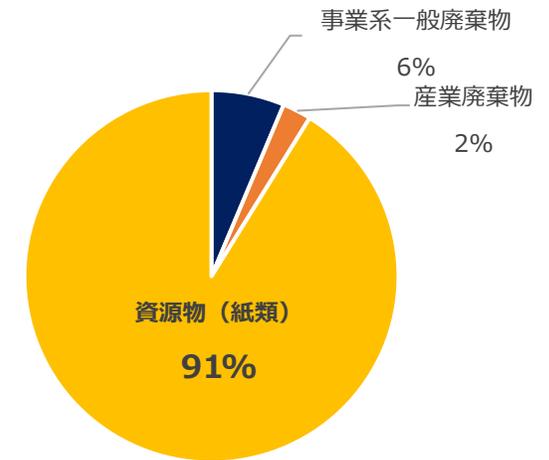
※ 紙購入量の目標は設定していないため、過去3年間の推移を示します。

市役所全体の紙購入量（千枚）



※増減率(%)は基準年度の2019年度を100%とする

市役所全体の廃棄物の割合

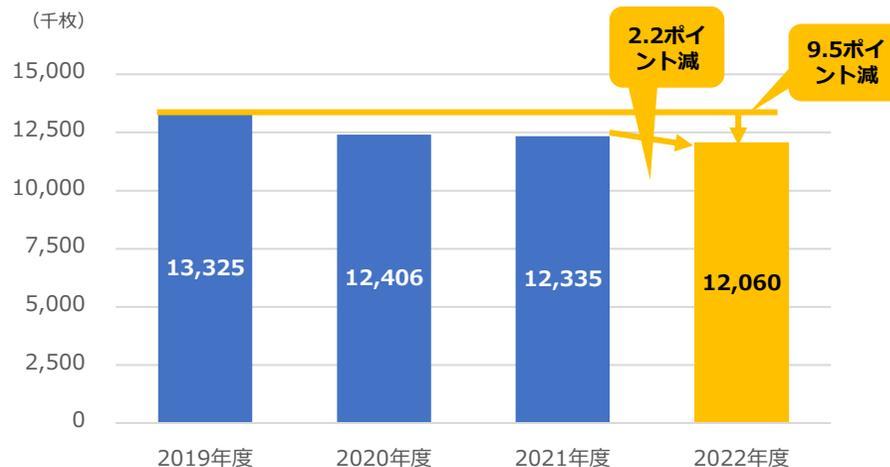


市庁舎複合機の紙使用量・一人一日当たりの紙使用量

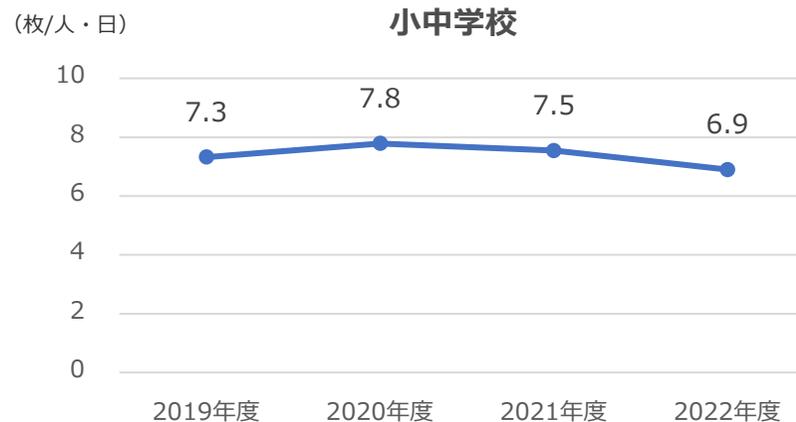
市庁舎複合機の使用量（千枚）

市庁舎複合機の使用量について実績を把握・管理しています。市庁舎ごみの削減目標の基準となる2019年度からは9.5ポイント、前年度からは2.2ポイント削減しました。

	複合機印刷数（千枚）	2019年度 増減率
2019年度	13,325	—
2020年度	12,406	-6.9%
2021年度	12,335	-7.4%
2022年度	12,060	-9.5%



一人一日当たりの紙使用量 ※紙購入量と人数から算出



※1 職員数：2,941人（2022年4月1日現在）、勤務日数：240日で計算しています。

※2 児童・生徒数：30,612人（2023年5月11日現在）、登校日数：200日で計算しています。

ただし、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、4月～5月（39日）が休校でした。このため、2020年度の数値は参考値です。

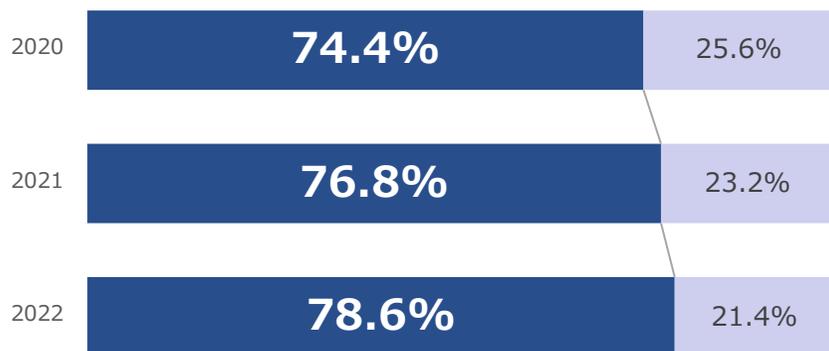
2. (3) グリーン購入達成率 (P11) 関連 組織別・品目別の達成率

組織別の達成率

「小・中学校」と「小・中学校以外」でのグリーン購入達成率です。

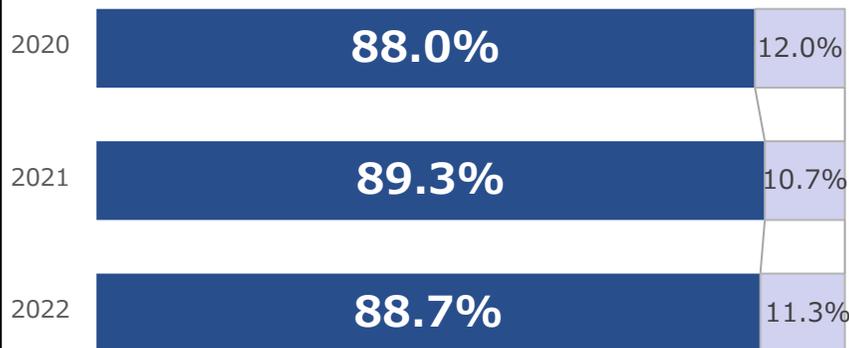
【小・中学校のグリーン購入達成率】

2022年度は前年度より 1,8 ポイント向上しました。



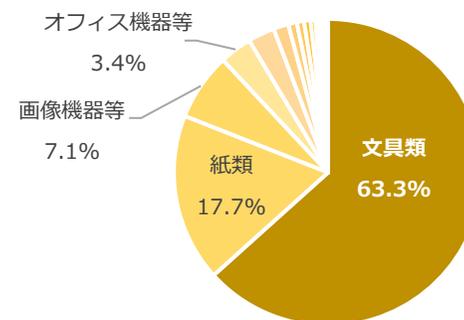
【小・中学校以外のグリーン購入達成率】

2022年度は前年度より 0.6ポイント下がりました。



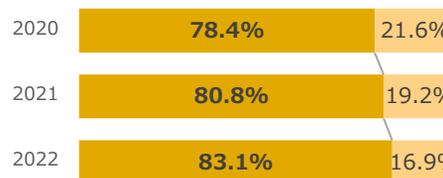
品目別の達成率

グリーン購入の対象件数の内訳

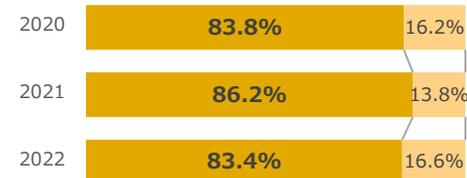


グリーン購入の対象件数のうち、「文具類」が全体の6割以上を占めています。割合の大きい「文具類」「紙類」「画像機器等」「オフィス機器等」の達成率は下記のとおりです。

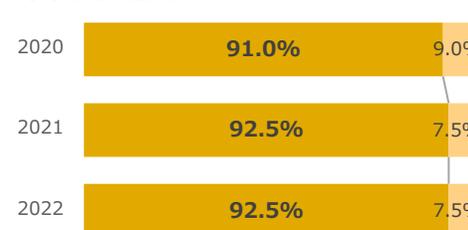
文具類



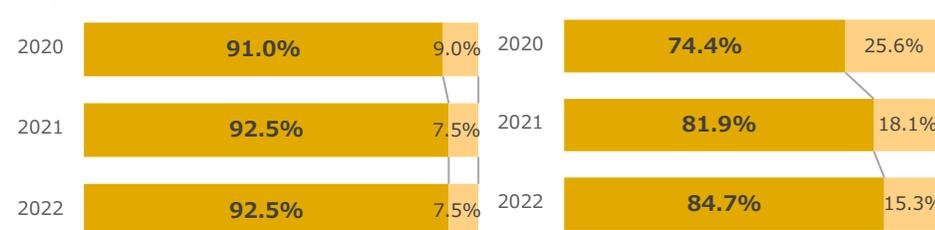
紙類



画像機器等



オフィス機器等



「文具類」の達成率は、前年度より2.3ポイント向上しました。
「紙類」の達成率は、前年度より2.8ポイント下がりました。

各部署におけるエコオフィス活動（職員共通）実施状況

エコオフィス活動のうち、全職場が共通して実施する取組の状況です。

各職場のエコオフィスサポーターが評価した結果を部ごとの平均（5点満点）で示します。

	共通の取り組み							
	省エネルギー					省資源		
	空調	照明	事務機器	公用車	給湯	紙使用量	ごみの減量	グリーン購入
政策経営部	4.3	4.3	4.3	4.3	5.0	4.0	4.0	4.0
総務部	4.6	4.0	4.2	4.6	3.7	3.8	4.2	4.0
財務部	4.7	4.1	4.4	4.3	5.0	4.1	4.1	4.3
防災安全部	3.0	3.0	4.0	3.0	5.0	5.0	4.0	3.0
市民部	4.8	4.1	4.8	4.3	4.1	4.6	4.3	4.0
文化スポーツ振興部	4.3	5.0	4.3	5.0	4.3	4.3	4.3	3.7
地域福祉部	4.5	4.5	5.0	4.5	5.0	4.0	4.5	3.5
いきいき生活部	4.5	3.0	3.5	4.5	4.3	4.0	4.5	4.0
保健所	4.0	4.0	3.5	3.5	5.0	3.5	4.0	3.5
子ども生活部	4.4	4.1	4.7	4.7	5.0	4.4	5.0	3.6
経済観光部	4.3	3.7	3.7	4.3	5.0	4.3	3.7	3.7
環境資源部	4.6	4.2	3.8	4.6	3.5	4.2	5.0	3.5
道路部	4.5	4.5	3.5	4.0	4.5	4.0	4.0	3.5
都市づくり部	4.7	4.4	4.1	4.7	5.0	4.4	4.1	3.9
下水道部	4.0	4.5	4.5	4.0	4.0	4.5	5.0	3.0
会計課	5.0	5.0	5.0	-	-	5.0	5.0	3.0
市民病院	4.5	3.5	4.0	4.5	1.0	4.0	4.5	3.7
議会事務局	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
選挙管理委員会事務局	3.0	5.0	3.0	5.0	5.0	3.0	5.0	1.0
監査事務局	5.0	5.0	3.0	3.0	5.0	3.0	5.0	-
学校教育部	4.7	4.4	4.4	5.0	4.4	4.1	4.7	3.9
小中学校	3.8	3.9	4.0	4.5	2.7	4.0	4.0	3.7
生涯学習部	4.0	3.4	3.8	4.0	2.1	4.8	4.0	4.4
全庁	4.4	4.2	4.1	4.3	4.3	4.2	4.4	3.6

項目	取組の例	
省エネルギー	空調の適正使用	適正な温度設定を行い、使用していない部屋の空調は停止
	照明の適正使用	不要な照明はこまめに消す
	事務機器の適正使用	長時間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜く、手元スイッチをオフ 省エネモードの選択ができる場合は、省エネモードの設定
	公用車の適正使用	エコドライブを心掛ける 近距離移動時はできるだけ徒歩または自転車を利用
省資源	給湯の適正使用	給湯器を有効利用し、電気ポットは使用しない
	紙使用量の削減	印刷要否の精査、電子会議システム等の電子データの活用 出力する際は2 in 1・両面印刷等の機能を利用し件数を削減 裏紙の有効活用
	ごみの減量	使い捨て製品の使用や購入は控える くるくるコーナーの活用など不要な物品はお互いに融通し、有効利用を図る
他	グリーン購入	グリーン購入のガイドラインに適合するものを優先的に購入

■ …5.0

■ …3.0未満

定期点検及び日常点検の実施状況（市長部局①）

エコオフィス活動のうち、施設を管理する部署が実施する設備等の適正管理（定期点検及び日常運用）の状況です。市が所有する施設の内、エネルギー使用量が比較的大きい施設について、実施状況を、○：実施した（または実施済）×：未実施、-：該当なし（設備なし）で示しています。

※2015年度のエネルギー使用量が原油換算で30kl以上の施設（指定管理施設は除く）

所属・施設	定期点検											日常運用										施設改修・設備更新
	熱源				給湯	照明	空調				給湯	照明			空調				動力			
	の冷 適温 正水 化出 口温 度	化運 転圧 力の 適正	化ブ ロ― 量の 適正	空 気比 の適 正化	圧ポ ンブ の適 正化 、	水給 湯温 の適 正化 循環	なラ ンブ の定 期的	点照 灯ス イッ を子 表示	の空 調フ ィル タ―	駄意 識防 止に 無	空 調運 転に 無	停給 止湯 器の 不要 時	消昼 灯休 のみ の実 施の 照明	消探 灯光 のを 利用 した	消不 灯在 時の 照明 の	正冷 な暖 設房 定温 度の 適	空 調停 止不 在時 の	房中 実実 施期 の外 気冷	正外 化気 導入 量の 適	の工 不ス 要カ 時レ 止タ ー、	エ レベ ルタ ー、	
財務部																						
市庁舎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
市民部																						
小山市民センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	無	
つくし野コミュニティセンター	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	○	無	
三輪コミュニティセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無	
町田市民フォーラム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無	
成瀬コミュニティセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	○	無	
木曾森野コミュニティセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	○	無	
玉川学園コミュニティセンター	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	無	
町田駅前連絡所	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	無	
木曾山崎連絡所	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
忠生市民センター	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	無	
鶴川駅前連絡所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	×	-	○	○	○	-	-	-	-	無	
鶴川市民センター	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	×	-	-	○	○	○	○	-	-	-	無	
南市民センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	有	
南町田駅前連絡所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	無	
なるせ駅前市民センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	有	
堺市民センター	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	無	
文化スポーツ振興部																						
博物館	-	-	-	-	-	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	-	-	無	
国際版画美術館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無	
いきいき生活部																						
ふれあいもみじ館	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	無	
ふれあいちょう館	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	無	

定期点検及び日常点検の実施状況（市長部局②）

所属・施設	定期点検											日常運用									施設 改修・ 設備更新	
	熱源					給湯	照明	空調			給湯	照明			空調			動力				
	の冷 適温 正水 化出 口温 度	化運 転圧 力の 適正	化ブ ロ― 量の 適正	空 気比 の適 正化	圧ポ 力の 適正 化、	水給 湯温 度の 適正 ・循 環	なラ ンブ の定 期的	点照 灯ス イッ チに	の空 調掃 ・フ イル タ―	駄意 識化 運 転 の 無	停給 止湯 器の 不要 時	消昼 灯休 みの 実 施の 照 明	消探 灯光 の利 用し た	消不 在時 の照 明の	正冷 な暖 設房 定温 度の 適	空調 室停 ・不 在時 の	房中 実間 施期 の外 気冷	正外 化気 導 入 量 の適	の工 不ス 要カ 時レ 止タ ー、	エ レベ ル の 適 正		
保健所																						
	健康福祉会館	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	無
	保健所中町庁舎	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	無
子ども生活部																						
	大地沢青少年センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	有
	子どもセンターばあん	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	無
	子どもセンターつるっこ	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	無
	子どもセンターばお	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○	○	○	○	○	○	×	○	有
	子どもセンターただON	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	無
	子どもセンターまあち	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	無
	こうさぎ保育園	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	無
	金森保育園	-	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無
	大蔵保育園	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無
	山崎保育園	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無
	町田保育園	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	無
	子ども発達センター	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	無
環境資源部																						
	町田市バイオエネルギーセンター	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	無
道路部																						
	土木・公園サービスセンター	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有
下水道部																						
	成瀬クリーンセンター	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有
	鶴見川クリーンセンター	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無
市民病院																						
	市民病院	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有

定期点検及び日常点検の実施状況（教育委員会①）

所属・施設	定期点検											日常運用									施設改修・設備更新	
	熱源					給湯	照明	空調	給湯	照明			空調			動力						
	の適 温 水 出 口 温 度	化 運 転 圧 力 の 適 正	化 ブ ロ ー 量 の 適 正	空 気 比 の 適 正 化	圧 力 の 適 正 化 、 ボ ン プ の 流 量 、	水 量 の 適 正 化 、 給 湯 温 度 の 適 正 化	な ラ ン プ の 定 期 的 な 清 掃 ・ 交 換	点 照 明 ス イ ッ チ を 表 示 す 範 囲 の 表 示	の 空 調 フ ィ ル タ ー の 清 掃 ・ 点 検	駄 意 識 化 に よ る 無 防 止	空 調 運 転 範 囲 の 正 常 運 行	停 給 湯 器 の 不 要 時 の 止 止	消 昼 休 み 時 の 照 明 の 実 施	消 採 光 を 利 用 し た 照 明 の 実 施	消 不 在 時 の 照 明 の 実 施	正 冷 暖 房 温 度 の 適 正 な 設 定	空 室 停 止 不 在 時 の 実 施	房 中 間 期 の 外 気 冷 暖 房 の 実 施	正 外 気 導 入 量 の 適 正 な 設 定	の エ レ ベ ー タ ー 、 エ ス カ レ ー タ ー 、 不 要 時 停 止		
学校教育部																						
町田市教育センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	無
町田第一小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有
町田第二小学校	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	無
町田第三小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	有
町田第四小学校	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	有
町田第五小学校	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有
町田第六小学校	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	有
南大谷小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有
藤の台小学校	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	-	有
本町田東小学校	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有
本町田小学校	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	○	有
南第一小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有
南第二小学校	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有
南第三小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有
南第四小学校	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有
つし野小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有
小川小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有
成瀬台小学校	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	×	×	○	○	○	○	○	×	-	-	有
鶴間小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有
高ヶ坂小学校	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有
成瀬中央小学校	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	有
南成瀬小学校	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有
南つし野小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	有
鶴川第一小学校	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	-	-	○	有
鶴川第二小学校	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有
鶴川第三小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有
鶴川第四小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有
金井小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有
大蔵小学校	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有
三輪小学校	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有
忠生小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-	○	有
小山田小学校	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	×	○	○	○	○	○	×	-	-	○	有
忠生第三小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	有
山崎小学校	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	有
小山田南小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有

定期点検及び日常点検の実施状況（教育委員会②）

所属・施設	定期点検										日常運用								施設改修・設備更新		
	熱源					給湯		照明			空調				空調					動力	
	の冷 適温 正水 化口 温度	化運 転圧 力の 適正	化ブ ロ― 量の 適正	空 気比 の適 正化	圧力 ポン プの 適正 化	給湯 水の 温度 適正 化	照 明 の 定 期 的 交 換	点 照 明 ス イ ツ チ に 表 示	の 空 調 フ ィ ル タ ー	駄 識 防 止 に よ る 無 の	空 調 運 転 範 囲 の	給 湯 器 の 不 要 時	消 昼 休 み 時 の 照 明	照 明 探 光 を 利 用 し た	消 不 在 時 の 照 明	正 冷 暖 設 房 定 温 度 の 適	空 調 室 ・ 不 在 時 の	房 実 施 期 の 外 気 冷		正 外 気 導 入 量 の 適	の エ ス レ ベ ー タ ー 、 不 要 時 停 止 タ ー
学校教育部																					
木曽境川小学校	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有
七国山小学校	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	有
函師小学校	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	有
小山小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有
小山ヶ丘小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	有
小山中央小学校	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有
相原小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有
小中一貫ゆきのき学園（大戸小	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有
町田第一中学校	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	有
町田第二中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有
町田第三中学校	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	×	×	○	○	○	○	○	-	-	-	有
南大谷中学校	-	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	有
南中学校	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	×	○	○	○	○	-	-	○	-	有
つくし野中学校	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	有
成瀬台中学校	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	-	-	有
南成瀬中学校	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	有
鶴川中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	有
鶴川第二中学校	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	-	-	-	有
薬師中学校	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有
真光寺中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	有
金井中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有
忠生中学校	-	-	-	-	-	-	○	×	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	有
山崎中学校	○	-	-	-	-	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	-	-	有
木曽中学校	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	-	有
小山田中学校	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	-	-	有
小山中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有
堺中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	有
生涯学習部																					
自由民権資料館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	無
生涯学習センター	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	無
中央図書館	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-	-	○	○	○	○	○	○	×	無
さるびあ図書館	○	-	-	-	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	-	有
鶴川図書館	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	有
金森図書館	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	無
木曽山崎図書館	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	無
町田市民文学館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-	×	無

3. (2) 環境法令の遵守 (P16) 関連

環境法令の遵守評価結果

対象となる業務	根拠法令	遵守事項 (確認内容、点検頻度、届出時期等)	件数 ()は2021年度			未是正の主な内容
			不適合	内是正済	内未是正	
業務用エアコン・冷蔵庫・冷凍庫等の運用点検及び廃棄	フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ① 機器の設置環境、使用環境の維持 ② 機器の簡易点検、定期点検 ③ 点検・整備の記録作成と保存(機器廃棄まで保存) ④ フロン漏えい時の適正な回収、修理 ⑤ 廃棄時の適正な処理と行程管理表の保存(3年) 	7件 (6件)	3件	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・用務担当業者に計画的に清掃等のメンテナンスを行うよう依頼。 ・現在、作成記録を確実にし、その状況をチェックする体制を整えている。 ・点検項目、時期について再度、担当者で共通理解し、確実に記録をしていく。
産業廃棄物保管基準の遵守確認	廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ① 保管場所の周囲に囲いを設けている ② 必要な事項を記した60cm×60cmの「掲示板」を適正に設置している ③ 廃棄物が混ざらないように、種別ごとの仕切りがある 	5件 (11件)	5件	0件	—
収集運搬業者・処分業者との契約書の管理		<ul style="list-style-type: none"> ① 契約書の5年保存 ② 許可証の許可期限が切れていない業者に委託した ③ 取り扱う廃棄物の種類は許可証と合致している ④ 水銀廃棄物を扱う場合、その旨を記載している 	0件 (0件)	0件	0件	—
産業廃棄物管理票(マニフェスト)の管理		<ul style="list-style-type: none"> ① 産業廃棄物の種類ごとに交付している ② A票「照合確認」欄への記入 ③ B2、D、E票の期限内返戻の確認 ④ 東京都へ前年度の交付状況報告(6月末迄) ⑤ マニフェストの5年間保存 ⑥ 水銀廃棄物を扱う場合、「産業廃棄物の名称」、「備考」欄に記載している 	1件 (4件)	0件	1件	・「東京都へ前年度の交付状況報告(6月末迄)」ができなかった。2023年度に2022年度分と一緒に報告する予定。
水銀使用製品産業廃棄物の保管及び処分		<ul style="list-style-type: none"> ① 他の廃棄物と混ざらないように保管している ② 水銀が漏れ出ないような保管をしている ③ 「掲示板」の種類欄に「水銀使用製品産業廃棄物」を含む旨を記載している ④ 水銀取扱いの許可を持った業者に委託している 	2件 (2件)	2件	0件	—
【特別管理産業廃棄物】PCB(ポリ塩化ビフェニル)廃棄物の適正な保管及び処分	PCB特別措置法及び廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ① 施設内におけるPCB使用製品の使用及び廃棄物としての保管状況については調査済み ② 特別管理産業廃棄物管理責任者を定めている(届出必要) ③ 適正な期日までに処分を委託した ④ 東京都へ前年度保管・処分状況の報告(6月末迄) ⑤ すべてのPCB廃棄物を廃棄・処分した場合、東京都への報告(「処分終了届」等)を行った 	1件 (1件)	0件	1件	・廃棄処分業者が、これまでの保管場所から搬出したため、今後廃棄処分が行われる。廃棄処分後東京都へ報告します。
家電(テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン等)の廃棄処分	家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ① 家電の廃棄時には、法令に基づく処理を確実にできる業者に委託した ② リサイクル料金支払い後、リサイクル券を保管している 	0件 (0件)	0件	0件	—
合計			16件 (24件)	10件	6件	